

渋谷川・古川河川整備計画（変更素案）

説明資料

令和5年11月27日

1 流域及び河川の概要

- ・ 渋谷川・古川流域の概要

2 河川整備の現状と課題

- ・ 過去の水害発生状況
- ・ 河川の整備状況
- ・ 河川環境の整備と保全に関する事項

3 河川整備計画の目標及び実施に関する事項

- ・ 洪水、高潮、津波等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項

1 流域及び河川の概要

- ・ 渋谷川・古川流域の概要

2 河川整備の現状と課題

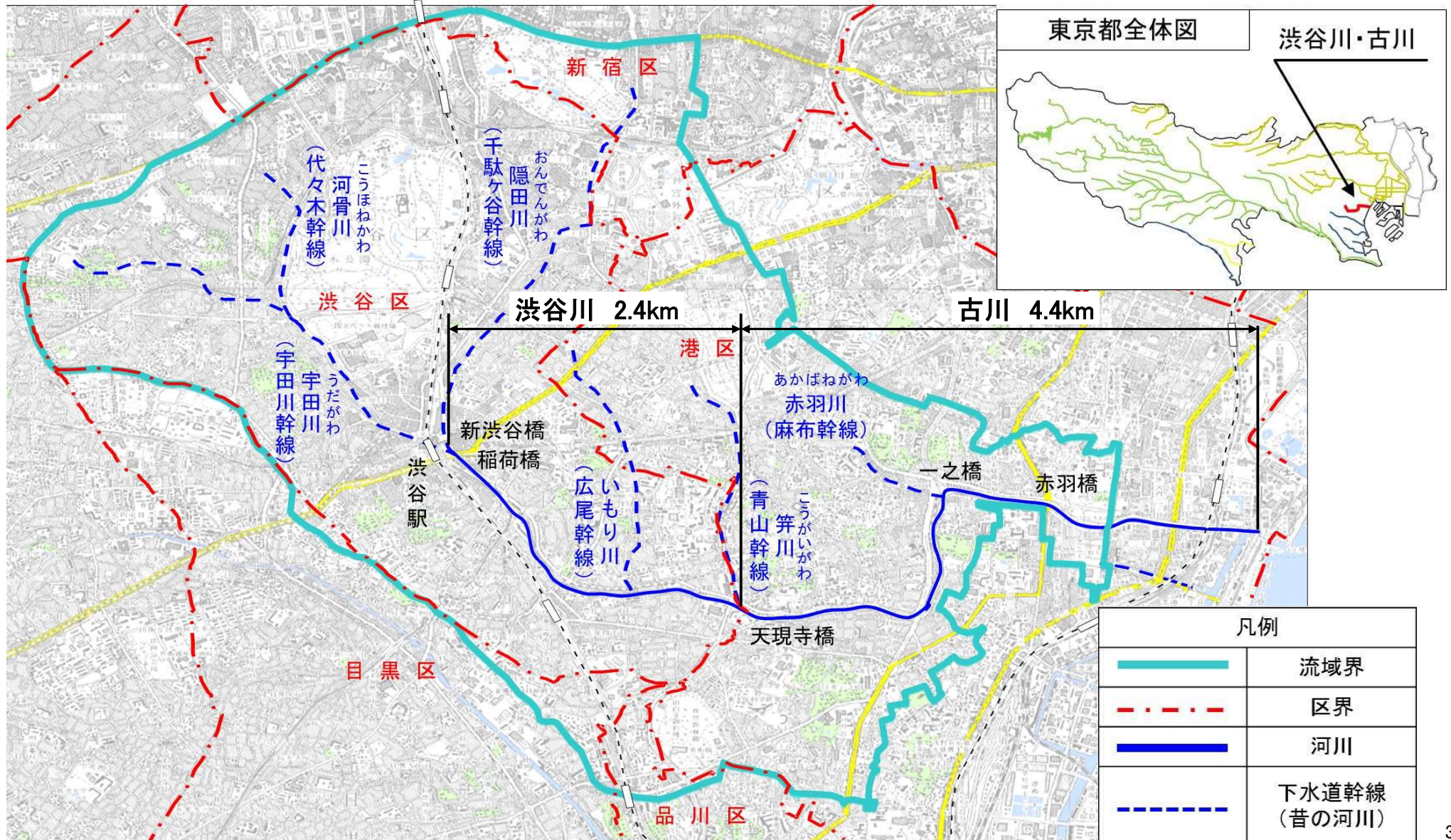
- ・ 過去の水害発生状況
- ・ 河川の整備状況
- ・ 河川環境の整備と保全に関する事項

3 河川整備計画の目標及び実施に関する事項

- ・ 洪水、高潮、津波等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項

流域及び河川の概要

- 流域面積 22.8km² (渋谷川 14.0km² 古川 8.8km²)
- 河川延長 6.8km (渋谷川 2.4km 古川 4.4km)
- 流域内人口：約35万人 (令和2年度)
- 流域区：渋谷区、港区、新宿区、目黒区、品川区



1 流域及び河川の概要

- ・ 渋谷川・古川流域の概要

2 河川整備の現状と課題

- ・ 過去の水害発生状況
- ・ 河川の整備状況
- ・ 河川環境の整備と保全に関する事項

3 河川整備計画の目標及び実施に関する事項

- ・ 洪水、高潮、津波等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項

河川整備の現状と課題

—過去の水害発生状況—

＜渋谷川・古川の主な水害＞

年月日	原因	浸水面積	被害棟数		雨量観測所	日雨量又は総雨量	時間最大雨量
			床下	床上			
昭和33年9月	狩野川台風	(21,103ha)	(464,030)		東京	444mm	76mm
昭和53年4月6日	集中豪雨	0.3ha	15	0	港南	46mm	26mm
昭和54年3月24日	集中豪雨	0.2ha	10	0	港南	56mm	19mm
昭和57年11月30日	集中豪雨	12.0ha	371	6	新宿	82mm	50mm
昭和62年7月25日	集中豪雨	1.9ha	70	5	新宿	64mm	60mm
平成5年8月27日	台風11号	2.5ha	11	0	高浜	201mm	47mm
平成9年8月23日	集中豪雨	0.2ha	1	10	渋谷	65mm	52mm
平成11年8月29日	集中豪雨	15.6ha	334	293	高浜	125mm	115mm
平成12年7月3日	集中豪雨	1.1ha	35	10	高浜	44mm	43mm
平成12年7月4日	集中豪雨	1.9ha	161	60	中央	88mm	84mm
平成16年10月9日	台風22号	0.6ha	20	15	中央	222mm	70mm
平成16年10月20日	台風23号	0.6ha	32	14	中央	201mm	31mm
平成17年5月23日	集中豪雨	0.5ha	12	1	中央	52mm	52mm
平成17年9月11日	集中豪雨	0.4ha	16	15	上目黒	86mm	58mm
平成22年9月8日	台風9号	0.2ha	3	17	三田	106mm	74mm
平成25年10月15日	台風26号	0.1ha	0	11	三田	213mm	38mm
平成26年6月29日	集中豪雨	1.6ha	25	73	駒場	67mm	50mm



平成11年8月29日集中豪雨
(古川橋上流・明治通り)



平常時



増水時

平成16年10月20日台風23号
(古川橋)

※代表的水害である狩野川台風（昭和33年）及び昭和49～平成26年（被害棟数10棟以上）の被害を掲載

河川整備の現状と課題 —河川の整備状況—

【河川の整備状況】

＜洪水対策＞

- ・渋谷川は、昭和61年～平成14年にコンクリート三面張りによる護岸整備は概成
- ・古川は、赤羽橋～天現寺橋間においては、主に昭和初期に整備された護岸の老朽化が進んでおり、護岸整備を進めている



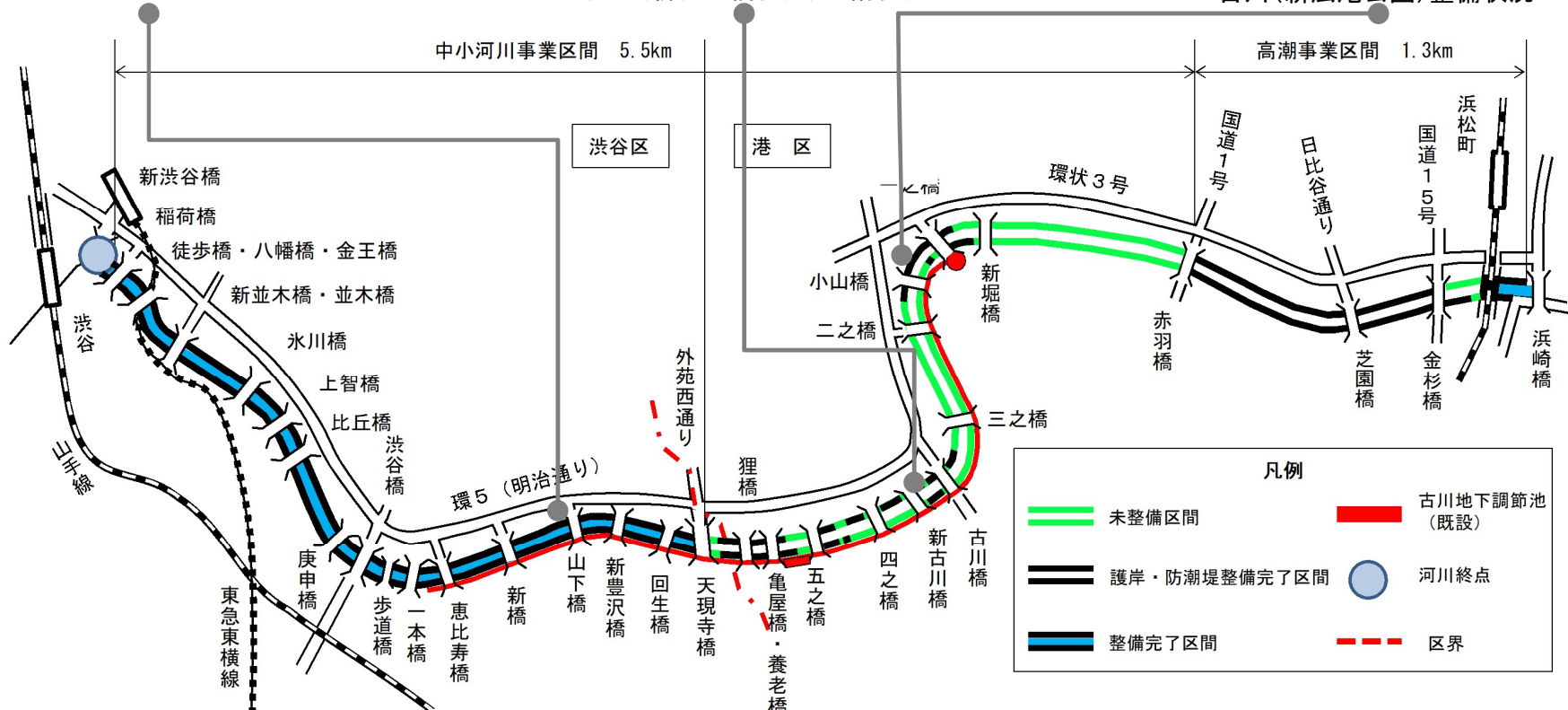
渋谷川(山下橋付近)整備状況



古川(新古川橋付近)整備状況



古川(新広尾公園)整備状況



<高潮対策>

昭和34年の伊勢湾台風と同規模の台風が、東京湾や主要河川に対して最大の被害をもたらすコースを進んだ時に発生する高潮(A.P.+4.6m)に対処できるよう、河口から赤羽橋までは高潮事業区間となっている。

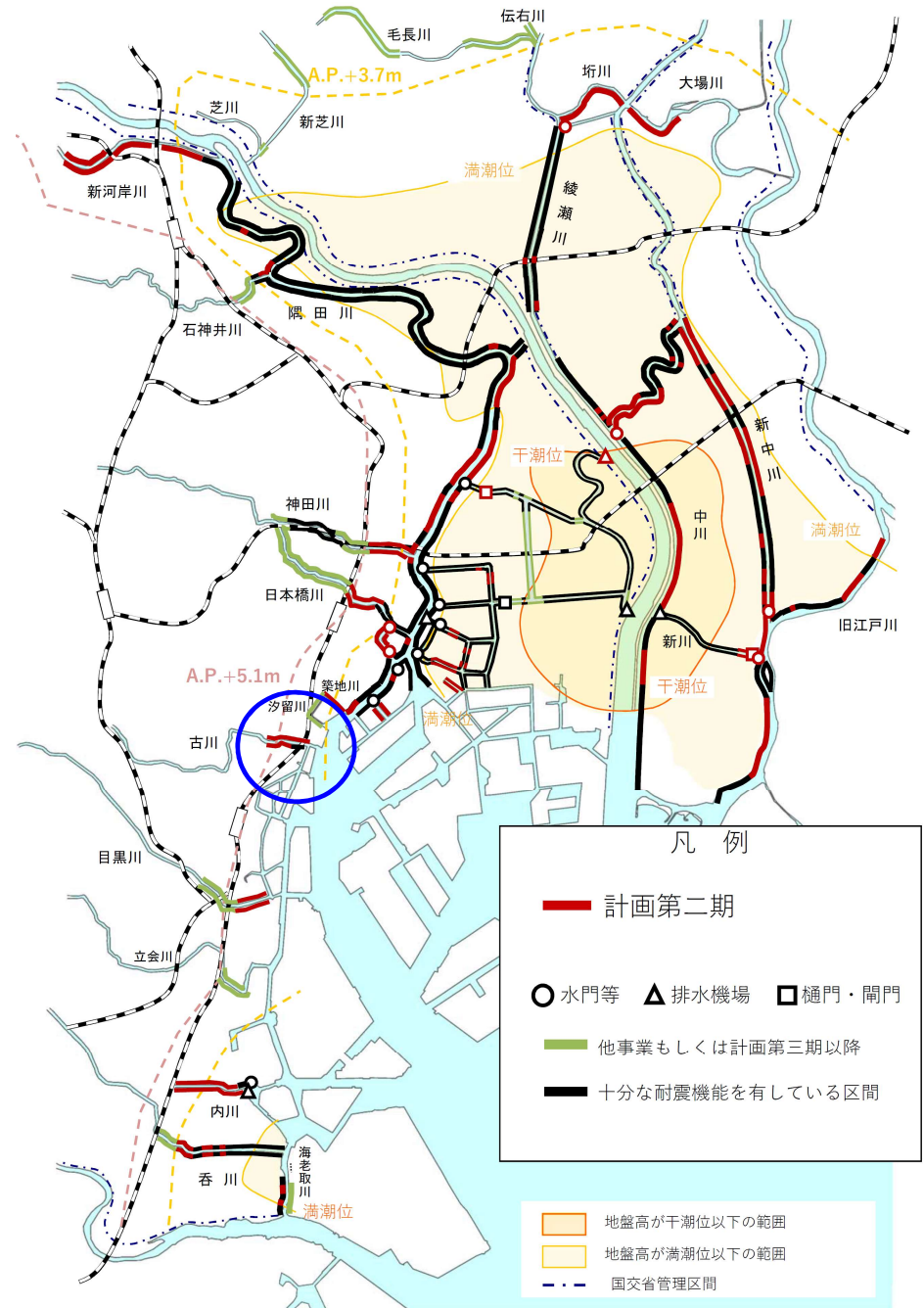
現在、河口～赤羽橋間においては、一部区間を除き防潮堤が完成している。

<耐震対策>

東京都では、平成23年3月の東日本大震災を受け、将来にわたって考えられる最大級の地震動に対応するため、背後地盤高が満潮位や想定津波高より低い地域を対象に、平成24年12月に「東部低地帯の河川施設整備計画」を策定した。

さらに、令和3年12月には背後地盤高が高潮の潮位より低い地域を対象範囲を拡大した「東部低地帯の河川施設整備計画(第二期)」を策定し、この計画に基づき、古川では防潮堤の耐震化を図っていく。

将監橋上流 現況写真

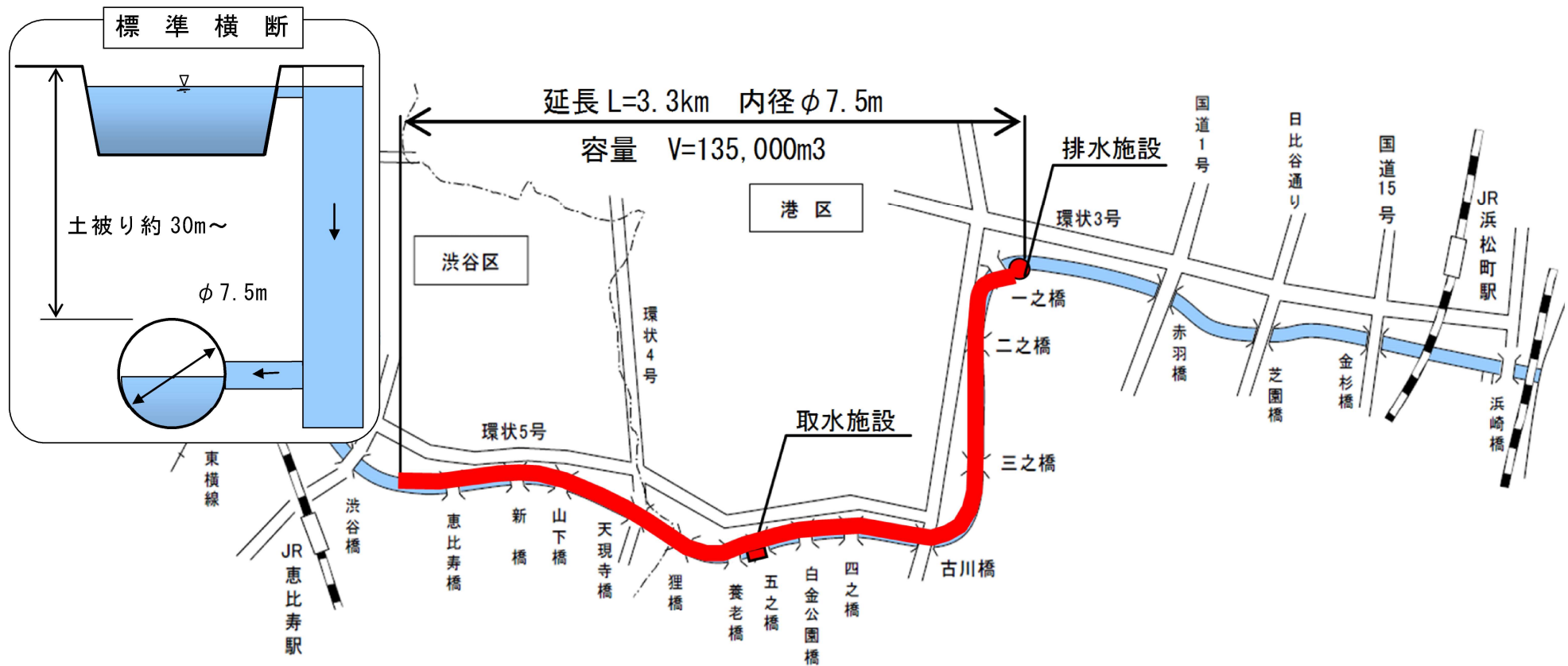


東部低地帯の河川施設整備計画（第二期）対象施設

河川整備の現状と課題 —河川の整備状況—

【調節池の整備状況】

古川では、首都高橋脚やマンションの隣接などにより、河道拡幅による整備が困難であることから、早期に治水安全度向上を図るため、平成21年度から古川地下調節池の整備に着手し平成29年度に完成している。

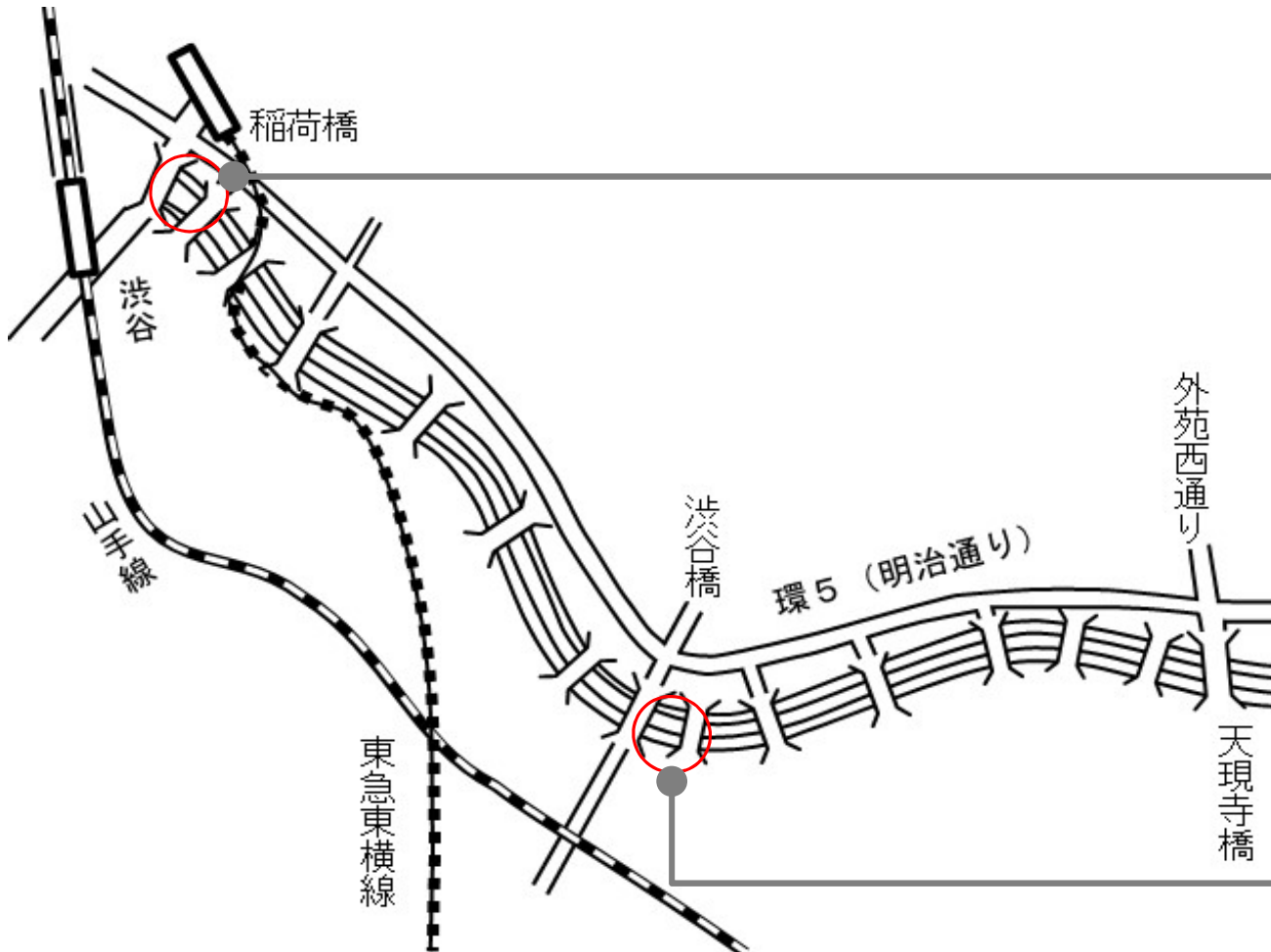


	内容・規模	備考
調節池名称	古川地下調節池	
洪水調節量	44m ³ /sec	取水箇所：港区白金五丁目
調節池容量	135,000m ³	排水箇所：港区三田一丁目
トンネル	内径7.5m	外径8.0m、土被り約30m~40m
延長	約3,300m	港区三田一丁目~渋谷区恵比寿一丁目

河川整備の現状と課題

－河川環境の整備と保全にする事項－

清流復活事業として、下水道局、環境局、地元区役所など関係機関と連携の上、平成7年度より下水道の高度処理水を導水している。恵比寿東公園においては、平成15年度より地下鉄管理者（東京メトロ日比谷線）における、地下湧水を導水している。



環境用水の導水・地下水の状況



日量約19,900m³

稲荷橋下流付近の状況(清流復活事業)



日量約460m³

恵比寿東公園の状況(東京メトロ日比谷線)

1 流域及び河川の概要

- ・ 渋谷川・古川流域の概要

2 河川整備の現状と課題

- ・ 過去の水害発生状況
- ・ 河川の整備状況
- ・ 河川環境の整備と保全に関する事項

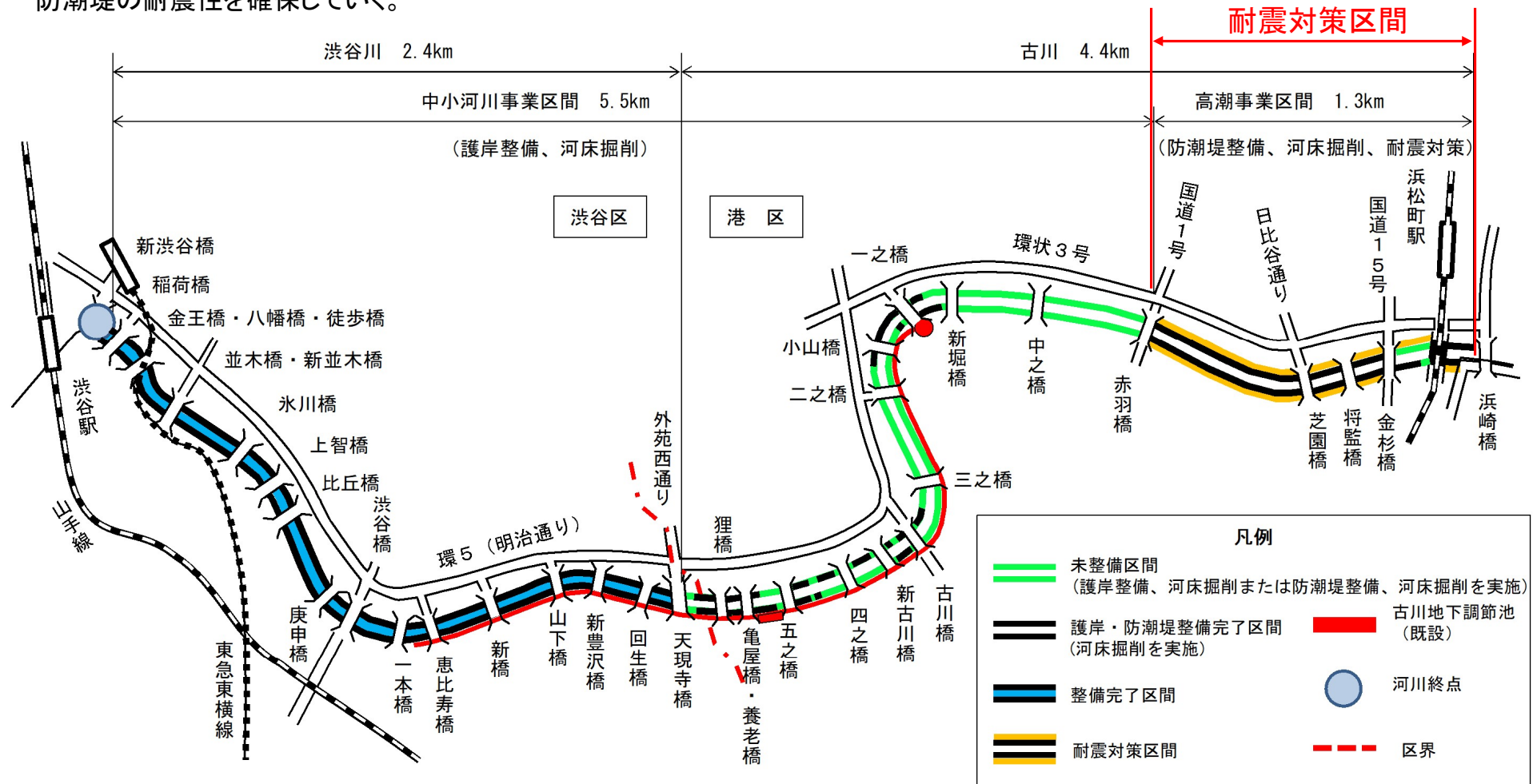
3 河川整備計画の目標及び実施に関する事項

- ・ 洪水、高潮、津波等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項

耐震対策(新たな計画策定に伴う計画変更)

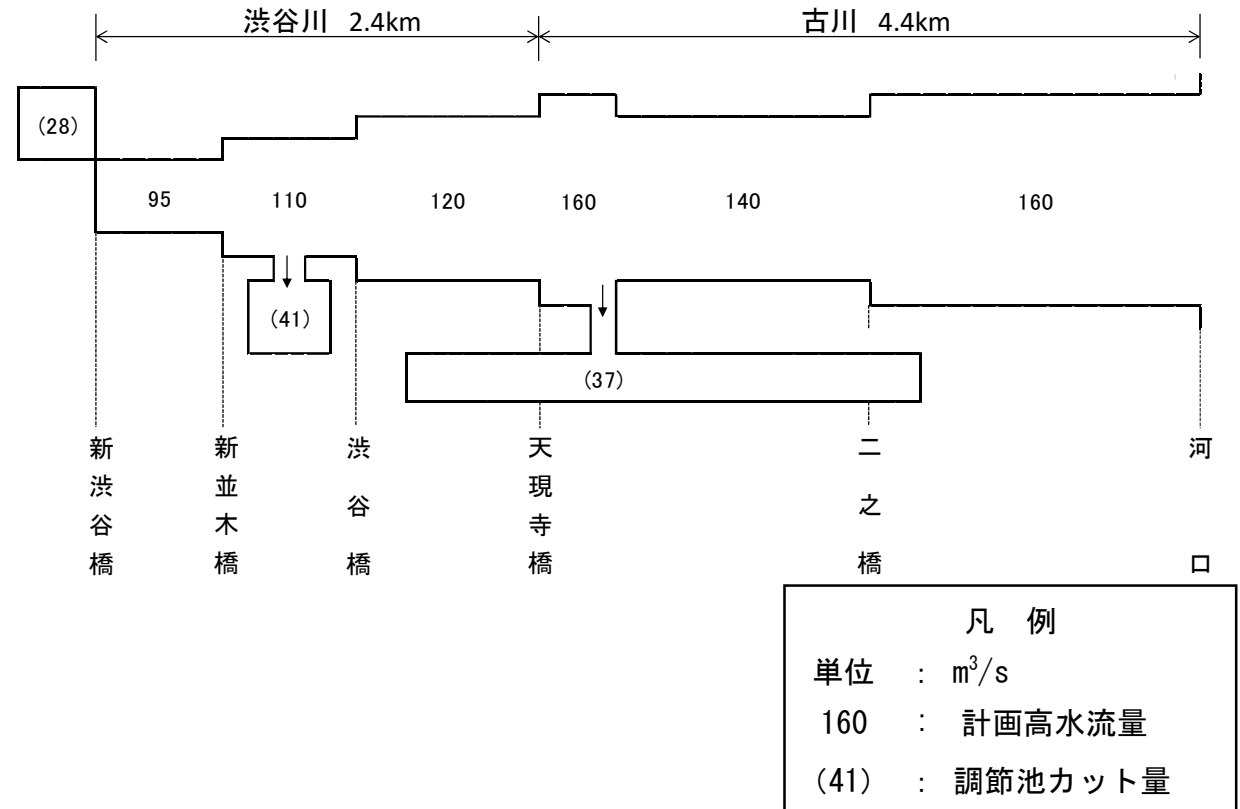
令和3年12月に策定した「**東部低地帯の河川施設整備計画(第二期)**」に基づき対策を実施

・将来にわたって考えられる最大級の地震動に対して、防潮堤の機能を保持し、津波等による浸水を防ぐために、防潮堤の耐震性を確保していく。



洪水対策(変更なし)

- 平成24年11月に示した「中小河川における都の整備方針～今後の治水対策～」に基づき、年超過確率1/20の規模の降雨(1時間あたり75mm規模)に対応するため、河川への流出を抑制する流域対策の効果を見込んだうえで、河道や洪水を貯める調節池を整備する。



渋谷川・古川計画流量配分図

高潮対策(変更なし)

- 昭和34年の伊勢湾台風と同規模の台風が東京湾及び主要河川に対して最大の被害をもたらすコースを進んだ時に古川で発生する高潮(A.P.+4.6m)に対して、安全であることを目標とする。